



ビジット・ジャパン大使の集いin沖縄

5月28日～29日、沖縄総合事務局では、ビジット・ジャパン大使（※）（以下、「VJ大使」という）に日頃の活動を通じて得られた知見等を地域の観光関係者にご披露いただき、訪日外国人の増加に向けた今後の取組の参考とするため、沖縄県、沖縄観光コンベンションビューロー等とともに、「ビジット・ジャパン大使の集い in 沖縄」を開催しました。

1 VJ大使によるリレー講演会

初日（28日）は、地元観光関係者や一般の方を対象に、ショッピングや観光地域まちづくり、二次交通等について4名のVJ大使の講演がありました。VJ大使から、訪日外国人旅行者の受入環境整備や観光資源と交通インフラの連携等についての課題が提起され、会場からは「インバウンドを受け入れる側として何をすべきか改めて考えさせられた」、「これをきっかけにブラッシュアップしたサービスが提供できれば」、「県内の二次交通の問題を解決することが必要」等の意見が寄せられました。

2 VJ大使との意見交換会

地元の観光関係者や有識者を招き、VJ大使との意見交換会を行いました。3名のVJ大使から観光産業の人材育成の取組や効果的なプロモーションの手法等の紹介がありました。地元観光関係者からは、沖縄県が取り組んでいる沖縄観光学習教材が紹介され、人材育成としての教材という観点だけでなく、観光を通して沖縄の歴史・文化・自然などを学べる教材としての活用方法をはじめ、様々な意見が出されました。

3 ファムトリップ

翌日（29日）は、南城市を中心に糸満市までの行程でファムトリップを行いました。ユニークベニュー「ガンガラーの谷」でのショートプログラムガイドツアー、ユインチホテル南城にて

食物アレルギー対応食の試食、世界遺産の斎場御嶽、平和の礎を視察しました。

沖縄総合事務局では、VJ大使をはじめ、VJ大使の集いin沖縄を通じて頂いた様々な方からのアドバイスやご意見を、地域と連携して今後の取組に活かしていきたいと考えています。



【VJ大使によるリレー講演会】



【地元代表の東 VJ 大使】



【リレー講演会で質問に答える横江 VJ 大使】



【VJ大使との意見交換会】



【意見交換会での陳 VJ 大使による発表】



【なんじいと VJ 大使】

（※）○ビジット・ジャパン大使とは、外国人旅行者の受入体制に関する「仕組み」の構築や外国人に対する日本の魅力の「発信」といった、他の関係者の「お手本」となる優れた取組をされた方々に対し、国土交通大臣・観光立国担当大臣が任命しているものです。

○ビジット・ジャパン大使は、現在、総勢56名です。

沖縄県では、東良和沖縄ツーリスト株式会社代表取締役会長が任命されています。